



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-----|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年12月期第1四半期 | 74 | △72.9 | △50 | — | △52 | — | △43 | — |
| 2019年12月期第1四半期 | 275 | 412.8 | 145 | — | 143 | — | 152 | — |

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △53百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 143百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年12月期第1四半期 | △1.66 | — |
| 2019年12月期第1四半期 | 5.81 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年12月期第1四半期 | 1,869 | 1,355 | 72.2 |
| 2019年12月期 | 1,981 | 1,408 | 70.3 |

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,349百万円 2019年12月期 1,393百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2020年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年12月期（予想） | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|-------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 310 | △46.6 | △390 | — | △410 | — | △340 | — | △12.94 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年12月期 1 Q | 26,275,200株 | 2019年12月期 | 26,275,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年12月期 1 Q | －株 | 2019年12月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年12月期 1 Q | 26,275,200株 | 2019年12月期 1 Q | 26,275,200株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品については、「グラナテック®点眼液0.4%（一般名：リパスジル塩酸塩水和物、適応症：緑内障・高眼圧症、ライセンスアウト先：興和株式会社（以下、「興和」））（以下、「グラナテック」）」の国内販売状況は順調に推移しております。同剤の海外については、シンガポールで承認取得し、興和では引き続き更なる海外展開を検討しております。また、配合点眼剤（リパスジル塩酸塩水和物とブリモニジン酒石酸塩）の国内第Ⅲ相臨床試験が開始されました（開発コード：K-232）。なお、緑内障治療剤「H-1337」については、継続してライセンスアウト活動を進めております。

導入品については、「DW-1002」の欧州等で上市済みの製品（製品名：ILM-Blue®、MembraneBlue-Dual®、適応症：内境界膜剥離、ライセンスアウト先：Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC」））の販売状況は順調に推移しております。同剤の米国（製品名：TissueBlue™）については、4月から販売開始されました。今後はDORCから契約に基づき、欧州等に加えて米国での販売に伴う実施料を受領いたします。また、開発パイプラインの拡充策の一つとして、4月に株式会社メドレックス（以下、「メドレックス」）と神経疼痛治療薬「DW-5LBT（メドレックスの開発コード：MRX-5LBT）」の共同開発契約を締結いたしました。今後は、メドレックスと共同で開発を進めてまいります。

研究開発プロジェクトについては、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにおいて、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行い、また、他社との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高につきましては、各種ロイヤリティ収入等により、合計74百万円（前年同期比72.9%減）を計上し、売上原価に2百万円（前年同期比12.5%減）を計上しました。

販売費及び一般管理費につきましては、121百万円（前年同期比3.7%減）となりました。その内訳は、研究開発費が61百万円（前年同期比3.1%減）、その他販売費及び一般管理費が59百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

これらにより、営業損失は50百万円（前年同期営業利益145百万円）、経常損失は52百万円（前年同期経常利益143百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益152百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

(イ) 自社創製品

| 開発コード等 | | 対象疾患 | 開発段階 | 地域 | ライセンスアウト先 ／開発コード |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------|---------|----------------|---------------------|
| リパスジル 塩酸塩水和物 | グラナテック | 緑内障・高眼圧症 | 上市 | 日本 | 興和／K-115 |
| | | | 承認 | 韓国・シン ガポール | |
| | | | 申請 | アジア3ヶ 国（注1） | |
| K-321 | 角膜内皮障害 （フックス角膜内皮変性症） | 第Ⅱ相臨床試験 | 米国 | 興和／K-321 | |
| リパスジル塩 酸塩水和物／ ブリモニジン 酒石酸塩 | K-232 | 緑内障・高眼圧症 | 第Ⅲ相臨床試験 | 日本 | 興和／K-232 |
| H-1337 | 緑内障・高眼圧症 | 第Ⅰ相/前期第Ⅱ 相臨床試験 | 米国 | 自社開発 | |
| K-134（注2） | — | — | 日本 | 興和／K-134 | |

（注1）マレーシア、ベトナム、タイの3ヶ国になります。

（注2）ライセンスアウト先の興和により、閉塞性動脈硬化症以外の適応症への応用を検討されているため、対象疾患と開発段階は記載しておりません。

(ロ) 導入品

| 開発コード等 | 対象疾患 | 開発段階 | 地域 | ライセンスアウト先/ 開発コード | 起源 |
|-------------|-----------------|---------------|-----|--------------------------|------------------|
| DW-1002 | 内境界膜剥離 | 上市 | 欧州 | DORC | 国立大学法人 九州大学 |
| | | 上市(注3) | 米国 | | |
| | | 申請 | カナダ | | |
| | 内境界膜染色 | 第Ⅲ相臨床試験 | 日本 | わかもと製薬 /WP-1108 | |
| | 白内障手術 | 第Ⅲ相臨床試験 | 日本 | わかもと製薬 | |
| DW-5LBT(注4) | 帯状疱疹後の神経疼痛 | 第Ⅲ相臨床試験 終了 | 米国 | メドレックスと共同開発 /MRX-5LBT | メドレックス |
| DW-1001 | 眼科用治療剤 (非開示) | 非臨床試験 | 日本 | ロート製薬 | 英国企業 |
| 未熟児網膜症治療薬 | 未熟児網膜症 | 臨床試験準備中 | 日本 | JIT開発 | 国立大学法人 東京農工大学 |

(注3) 2020年4月に上市されました。

(注4) 2020年4月に共同開発契約を締結いたしました。

(ハ) 研究開発プロジェクト

| 開発コード等 | 対象とする疾患等 | 開発段階 |
|-------------------|----------------------|------|
| シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト | 眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患 | 基礎研究 |

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末から112百万円減少し、1,869百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から101百万円減少し、1,614百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ106百万円減少した一方で、売掛金が2百万円、流動資産のその他が2百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から10百万円減少し、254百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が10百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から59百万円減少し、514百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から29百万円減少し、160百万円となりました。主な要因は、流動負債のその他が前連結会計年度末に比べ21百万円、未払金が6百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から30百万円減少し、354百万円となりました。主な要因は、長期借入金が30百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から53百万円減少し、1,355百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が43百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は72.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年4月16日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,540,784 | 1,434,503 |
| 売掛金 | 103,523 | 105,600 |
| 仕掛品 | 804 | 1,095 |
| 貯蔵品 | 58,564 | 58,456 |
| その他 | 12,105 | 14,741 |
| 流動資産合計 | 1,715,782 | 1,614,398 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,128 | 2,845 |
| 無形固定資産 | | |
| 契約関連無形資産 | 246,857 | 236,571 |
| その他 | 3,054 | 2,843 |
| 無形固定資産合計 | 249,911 | 239,415 |
| 投資その他の資産 | 12,527 | 12,527 |
| 固定資産合計 | 265,567 | 254,788 |
| 資産合計 | 1,981,349 | 1,869,187 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 120,000 | 120,000 |
| 未払金 | 25,788 | 19,561 |
| 未払法人税等 | 2,892 | 1,047 |
| その他 | 40,585 | 19,528 |
| 流動負債合計 | 189,265 | 160,137 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 360,000 | 330,000 |
| その他 | 24,000 | 24,000 |
| 固定負債合計 | 384,000 | 354,000 |
| 負債合計 | 573,265 | 514,137 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 34,762 | 34,762 |
| 資本剰余金 | 2,133,478 | 2,133,478 |
| 利益剰余金 | △775,176 | △818,752 |
| 株主資本合計 | 1,393,065 | 1,349,488 |
| 非支配株主持分 | 15,018 | 5,560 |
| 純資産合計 | 1,408,083 | 1,355,049 |
| 負債純資産合計 | 1,981,349 | 1,869,187 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 275,650 | 74,589 |
| 売上原価 | 3,342 | 2,924 |
| 売上総利益 | 272,308 | 71,665 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 研究開発費 | 63,944 | 61,977 |
| その他 | 62,477 | 59,758 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 126,421 | 121,735 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 145,886 | △50,070 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 51 | 75 |
| 営業外収益合計 | 51 | 75 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,566 | 1,268 |
| 為替差損 | 454 | 1,372 |
| その他 | 0 | — |
| 営業外費用合計 | 2,020 | 2,640 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 143,918 | △52,636 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 143,918 | △52,636 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 398 | 398 |
| 法人税等合計 | 398 | 398 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 143,519 | △53,034 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △9,106 | △9,458 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 152,625 | △43,576 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 143,519 | △53,034 |
| 四半期包括利益 | 143,519 | △53,034 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 152,625 | △43,576 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △9,106 | △9,458 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 11,009千円 | 10,779千円 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（重要な契約の締結）

当社は、2020年4月16日開催の取締役会において、当社と株式会社メドレックスとの間で、株式会社メドレックスが開発中の带状疱疹後の神経疼痛治療薬「MRX-5LBT」について、共同開発契約（以下、本契約）を締結することを決議いたしました。

| | |
|---------------------|--|
| 契約締結先 | 株式会社メドレックス |
| 契約締結日 | 2020年4月16日 |
| 契約の内容 | 株式会社メドレックスが米国で開発中の「MRX-5LBT」について、当社も共同で開発を進めるものであります。本契約締結後は、これまで当社が培ってきた医薬品開発に関する知見や経験を活かし、株式会社メドレックスと「MRX-5LBT」の開発・事業化を進めることとなります。 |
| 契約の締結が営業活動へ及ぼす重要な影響 | 本契約締結による一時金等の支払いは発生しませんが、当社は今後、米国での事業化の進捗に応じたマイルストーンを2億円を限度に支払うこととなります。その結果、当社は販売高に応じたロイヤリティ等を受領いたします。 |

（多額な資金の借入）

当社は、2020年4月16日開催の取締役会において、上記の共同開発契約における開発品の事業化の進捗に応じたマイルストーンの支払いをするための資金調達として、株式会社みずほ銀行とコミットメント期間付タームローン契約を締結することを決議いたしました。なお、契約の概要は以下のとおりであります。

| | |
|-----------|--|
| 契約締結先 | 株式会社みずほ銀行 |
| 契約締結日 | 2020年4月16日 |
| 借入限度額 | 200,000千円 |
| 契約形態 | コミットメント期間付タームローン |
| コミットメント期間 | 2020年4月30日～2022年4月30日 |
| 満期日 | 2027年9月30日 |
| 返済方法 | 2022年9月30日を初回とし、以降3ヵ月毎分割返済 |
| 適用利率 | 基準金利+1.00%（年率） |
| 担保等の状況 | 無担保・無保証 |
| 財務制限条項 | 2020年12月期決算以降、各年度の決算期の末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額を、正の数に維持すること。 2020年12月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を、正の数に維持すること。 |

（譲渡制限付株式報酬としての新株式発行）

当社は、2020年4月16日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を行うことについて決議し、2020年5月14日に払込が完了いたしました。

1. 発行の目的及び理由

当社は、2018年2月15日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除く。以下、「対象取締役」）及び当社子会社の取締役（社外取締役を除く。以上を総称して以下、「対象取締役等」）が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、対象取締役等に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」）を導入することを決議いたしました。

また、2018年3月29日開催の第20期定時株主総会において、本制度に基づき、対象取締役等に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額30百万円以内として設定することにつき、ご承認をいただいております。

2. 発行の概要

| | |
|---------------------|--|
| 払込期日 | 2020年5月14日 |
| 発行する株式の種類及び数 | 当社普通株式36,900株 |
| 発行価額 | 1株につき369円 |
| 発行総額 | 13,616,100円 |
| 資本組入額 | 1株につき184.5円 |
| 資本組入額の総額 | 6,808,050円 |
| 募集又は割当方法 | 特定譲渡制限付株式を割り当てる方法 |
| 出資の履行方法 | 金銭報酬債権の現物出資による |
| 割当対象者及びその人数並びに割当株式数 | 当社の取締役（社外取締役を除く）3名に対して36,900株 |
| 譲渡制限期間 | 2020年5月14日～2023年5月13日 |
| その他 | 本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。 |